

クランプ回路の圧力を検知します。カプラ分離後マシントーブルを移動させ、リミットスイッチに接触させて内圧の確認をとることもできます。

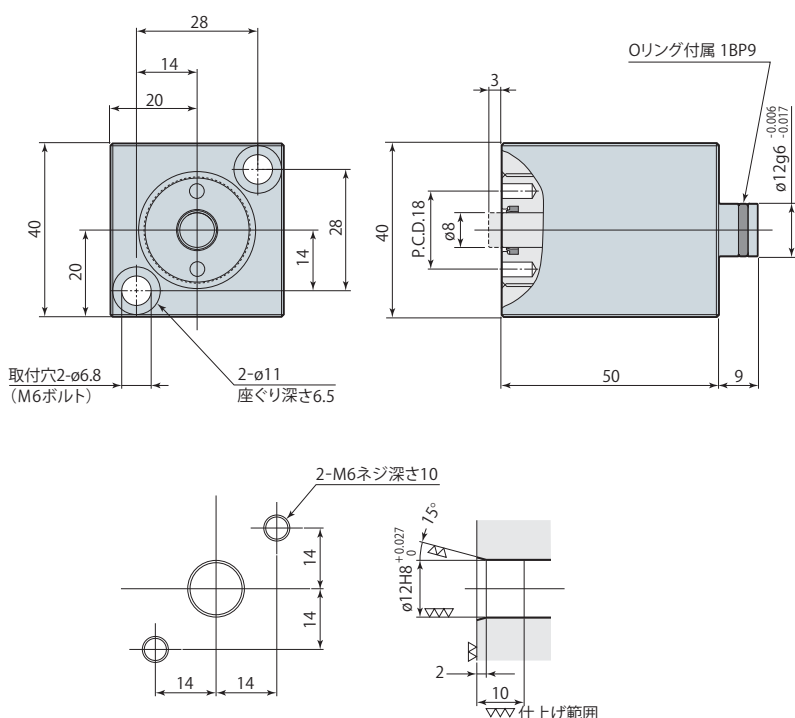
| 型 式 | WVL-M- 設定圧力※ | WVL-H- 設定圧力※ |
|------------------|--|--|
| 取付・配管方法 | マニホールド型 | |
| 設定圧力範囲 (降圧時動作圧力) | 7 ~ 14 MPa (±0.3 MPa) | 14 ~ 21 MPa (±0.5 MPa) |
| ストローク | 3 mm | |
| プランジャ面積 | 19.6 mm ² | 12.6 mm ² |
| 使用油量 | 0.06 cm ³ | 0.04 cm ³ |
| 質 量 | 0.6 kg | |

保証耐圧力：21MPa (WVL-M)、31.5MPa (WVL-H) 使用周囲温度：0~70℃ 使用流体：ISO-VG32相当 一般作動油

※：1MPa単位で設定可能です。注文時に設定圧力を指定してください。例：WVL-H-14 (設定圧力14MPa)

塩素系切削油対策として切削油がかかるシール部にフッ素ゴムを採用したタイプもあります。(耐熱仕様ではありません。型式表示 WVL-□-□-□-□)

model **WVL-□-□** マニホールド型 ※内部フィルターなし



取付面加工図

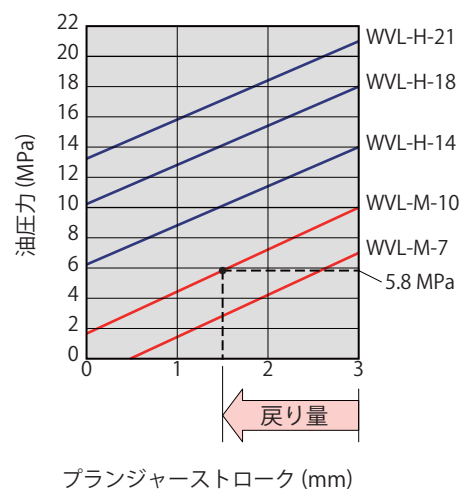
※取付ボルトは付属しません。

特性線図

油圧が設定圧力まで下がると、プランジャーが戻り始めます。その後のプランジャーストローク量(戻り量)と圧力降下の関係は、以下の通り設定圧力に関わらず一定です。

WVL-M：2.93 MPa/mm ±10% (0.34 mm/MPa ±10%)

WVL-H：2.59 MPa/mm ±10% (0.39 mm/MPa ±10%)



例えばWVL-M-10 (設定圧力10 MPa) の場合、油圧10 MPaでプランジャーが戻り始め、1.5 mmストロークした時点での油圧力Pは、 $P = 10 - 2.78 \times 1.5 = 5.8 \text{ MPa}$ となります。